

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立朝酌小学校）

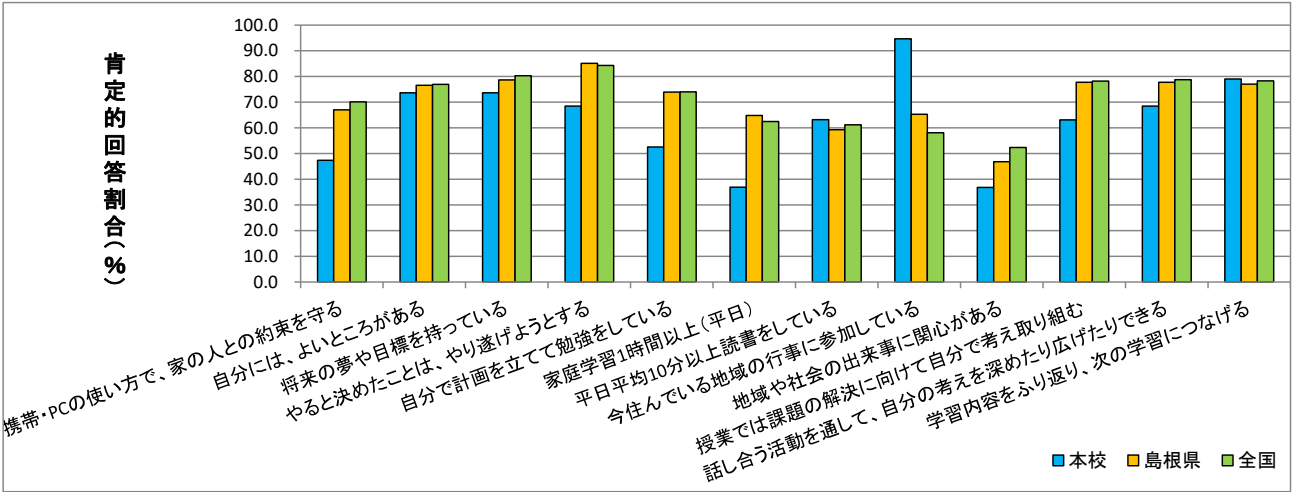
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対 策
国語	○国語全体の正答率が、全国平均よりも0.3%高かった。また、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の正答率が全国平均よりも約9%高く、短答式の問題でも約14%高かった。漢字を文の中で正しく使う力がついているとうかがえる。 ●選択式問題での正答率が低い傾向が見られる。	・漢字や言語についての理解が定着するように、反復練習を引き続き継続的に取り組んでいく。また、授業の中で「対話」や「文章にまとめる活動」などの言語活動の充実を図っていく。 ・問われたことに対する条件や内容を理解するため、様々な分野の本を薦め多くの文章に触れていくよう、読書活動をさらに推進する。
算数	○算数全体の正答率が、全国平均よりも約2%高かった。「変化と関係」の領域の正答率が全国平均よりも6.6%高く、記述式の問題でも2.3%高かった。式、答えを正しく書く力はついてきているとうかがえる。 ●「図形」の領域の問題での正答率が低い傾向が見られる。	・授業の中で、図や式、数直線などを用いて考えを書いたり、友達同士で説明し合ったりする場面を増やしていく。また、適用題や発展問題を通して、既習事項を活用していく力を伸ばしていく。 ・図形の性質や構成する要素について、繰り返し確認したり、説明し合ったりする場面を設定する。

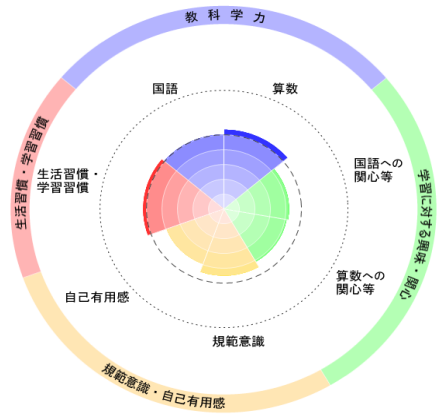
(2) 生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対 策
○「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童が多く、朝酌の地域に対する意識が高い。 ○「学習内容を振り返り、次の学習につなげることができている」と回答した児童が多く、学習の見直しに意欲的に取り組んでいる。 ●家庭学習が1時間未満の児童が半数以上おり、課題である。	・地域や家庭と連携をして、ふるさと朝酌を学ぶ学習の充実をさらに進めていく。 ・振り返りに活用できるノート作りを継続して行う。 ・家庭での学習時間がより充実するように、宿題など家庭学習の工夫をしていく。

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・全校朝読書と全校朝学習(漢字検定)の時間を設定し、学習意欲の向上と学習習慣の定着を目指していく。
- ・全校体力作り(ジョギングタイム、なわとびタイム)の時間を設定し、学習に向かう体づくりを継続し、知徳体の調和のとれた子どもの育成に力を入れる。

【受検者数】 19 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。